



南高SSHだより

第1号
H28.8.30
新潟南高等学校
SSH部発行

南高SSHが大きく変わります

学校長 青山一春

南高校は今年度SSH14年目を迎えるにあたり、平成28年度からのSSHを課題研究の充実とSSHの全校への普及、全校へ探究活動を広げることを中心に大きく変えることにしました。

課題発見、課題探究と課題研究を進めるための準備に十分時間を掛けるため、これまで英語力の向上及び課題研究への動機付けとして行ってきたアメリカ研修を1年の夏から、2年の年度末に移行しました。SSHの全校への普及、全校へ探究活動を広げることについては、1年生の総合的な学習の時間を探究型とし、教科・大学・企業・研究所等と連携したキャリア教育を行います。英語力は、教育



課程上の教科英語の正規のカリキュラムと県の留学生ふれあい事業等を活用し、イングリッシュキャンプでネイティブと交流する機会を増やすなど、2年間で英語力の向上を図ります。また、文系を含めた理数コース以外の生徒も1年の探究型総合的な学習の時間とキャリア教育そして、新たに来年度2年生に設ける学校設定科目「江風SSG(ジェネラル)」で全員が探究活動を行い、理数コースだけでなく普通科の諸君も、その探究活動の取組やその成果、意欲と学業に応じて、課題研究の成果を持って2年末のアメリカ研修に参加し、同時代を生きるアメリカの高校生と意見交換をしていくというプログラムにしました。生徒はSSH、学習、部活動ともに、失敗を恐れず、気概を持って取り組んでください。

2・3年生の理数コース以外の生徒は、全校へ探究活動を広げると言っても、もう関係のないことと思っているかも知れません。しかし、今年の東大英語では語彙力があることを前提に、創造的思考を測る問題や批判的思考、論理的に組み立て、表現する力を見る問題が出題されました。今後多くの大学に広がるのが容易に想像できます。これに対処するには、身近な課題に対し、自ら考える力を日頃から身に付けなければなりません。

論理的・批判的思考力・問題解決力、主体性・多様性・協働性など必要な力は、SSHの課題研究活動の中で全て身に付けることができます。今後このような入試問題や特色入試は確実に増えていきます。これから大きく変わっていく大学入試に対応するため、全校へ探究活動を広げる必要があります。

全校でSSHに取り組んでいきましょう。

新潟南高校 SSH 活動について

平成 28 年度 SSH 事業がスタートしました！

平成 25 年度に 5 年間の指定を受けた第Ⅲ期 SSH は、今年度 4 年目を迎えました。新潟南高校の第Ⅲ期 SSH は、

将来国際的に活躍する科学技術系人材 「科学技術系グローバル人材」の育成を目指しています

学校全体で SSH の活動に取り組んできました。

今年度も SSH の活動に、さらに多くの生徒たちから積極的に参加してもらいたいと思います。

☆平成 28 年度主な SSH 活動について



江風 S S I (1 年理数コース)
課題研究テーマ決定、アクティブラーニング



課題研究英語発表会 (3 年理数コース)
課題研究を英語で発表、英語で質疑応答



S S II 課題研究 (2 年理数コース)
物理・化学・生物・数学分野のグループ研究



課題研究発表会 (2 年理数コース)
研究の取組みをまとめた発表と意見交換



国内臨地研修 (2 年希望者)
県外大学の先生による講義と実習



トキ野生復帰プロジェクト研修
佐渡でトキに関する学習と実習



北東アジア・環境エネルギーシンポジウム
「環境とエネルギー」について日本・中国・韓国・ロシアの高校生が議論

「科学オリンピック」への挑戦

数学甲子園・物理チャレンジ・生物オリンピック・化学グランプリなどへの参加、全国大会や日本代表として国際大会に出場することを目指してがんばっていきましょう。

「科学コンテスト・学会ポスター発表」への挑戦

日本学生科学賞・朝日学生科学賞・神奈川大学の科学賞・バイオサミット・動物学会・日本植物学会でのポスター発表を目指して課題研究をがんばっていきましょう。